

2021年度

ふくしま生活困窮者支援ねっと



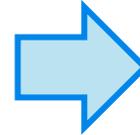
ふくしま連携復興センター

■ 福島県における生活困窮者を取り巻く環境

2011年3月11日に発生した東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、福島県における生活困窮者を取り巻く環境は一変した。

また、近年多発している複合災害の影響も受けさらに厳しい状況となっている。

課題先進地域 ・ 多様化 複雑化	避難の長期化
	高齢化の加速
	被災者支援策の縮小
	コミュニティの崩壊
	孤立化



多種多様なセクターが結集し、それぞれの知見やノウハウを持ち寄らなければ解決困難なケースが散見される。



第2期復興・創生期間を迎えた現在も生活再建において心身・経済面共に不安定な生活を送る被災者が点在している。

災害復興の過程において、生活再建から取り残される被災者・避難者に、必要不可欠な支援を担保する。その為に、地域の社会資源を有効活用し、外部支援を繋ぐ持続的可能な仕組み作りが求められている。

■ ふくしま生活困窮者支援ねっこの目的

生活困窮者支援の在り方に関して学びを深め、相互の活動を理解し、今後の包括的な生活困窮者支援において協働できる関係づくりを模索する。

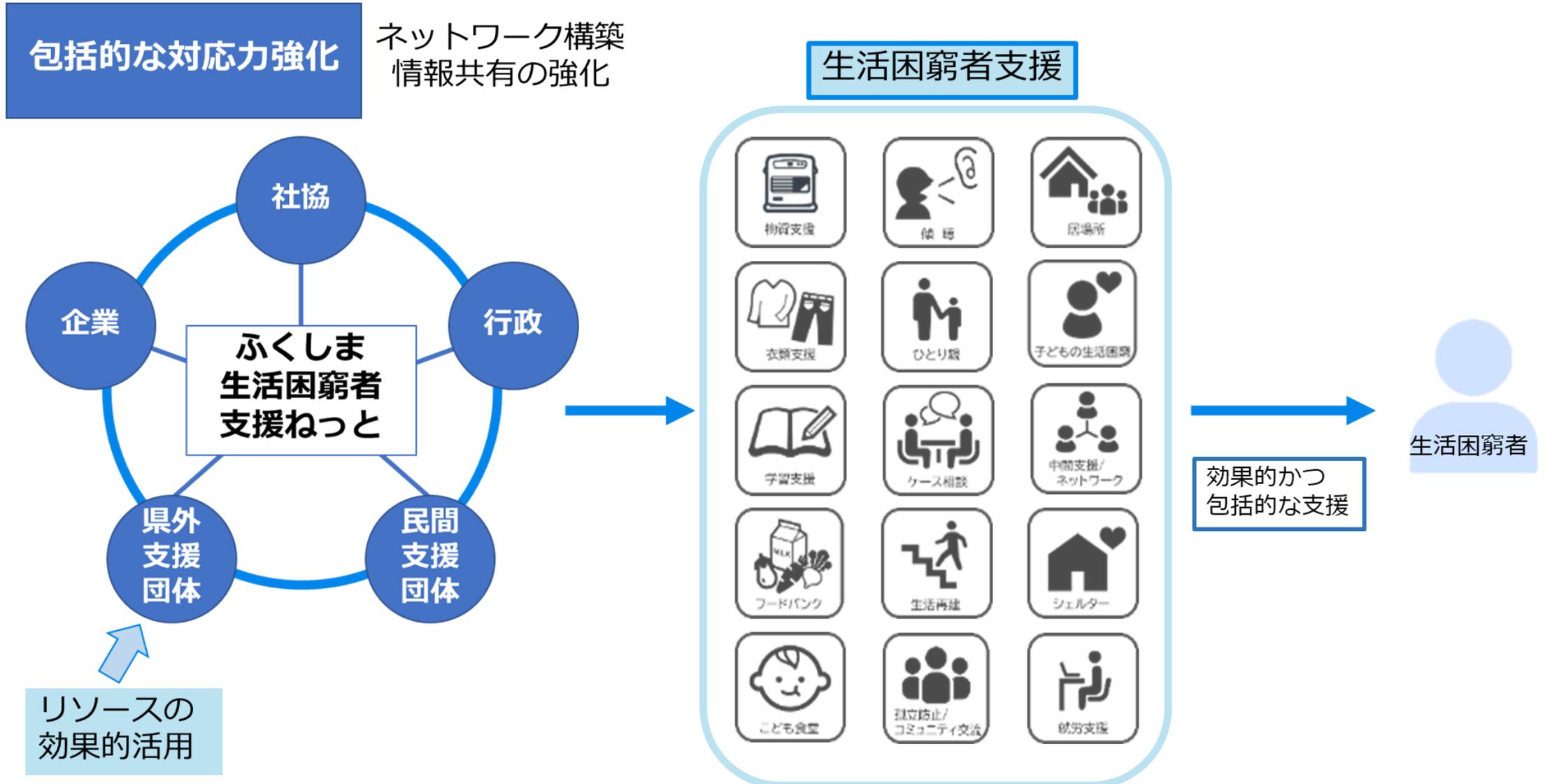
引いては、被災者の生活困窮に関わる支援活動を担う支援者間のネットワーク形成の一助となることを目的とする。

■ ふくしま生活困窮者支援ねっこの概要

「ふくしま生活困窮者支援ねっこ」は、2017年度より(一社)ふくしま連携復興センターが事務局となり、認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム並びにNPO法人みんなぷくと協働で進めてきたネットワーク体である。

2017年度に、NPO法人フードバンク岩手による研修会にNPO法人ザ・ピープル等と共に参加したのが本ネットワーク体の活動の始まりである。その後も、生活困窮者支援における課題解決のための活動の啓発と活動団体の能力強化、ネットワーク化を目的に勉強会等を開催している。

■ 連携体制図



■これまでの活動

- ①全体情報共有会の開催
NPO、県社協、市町村社協、自治体等、生活困窮支援に係る団体等を対象に実施。
- ②研修会の開催
福島県内外の先行事例等について学ぶ場の開催。

③情報共有（MLによる配信）

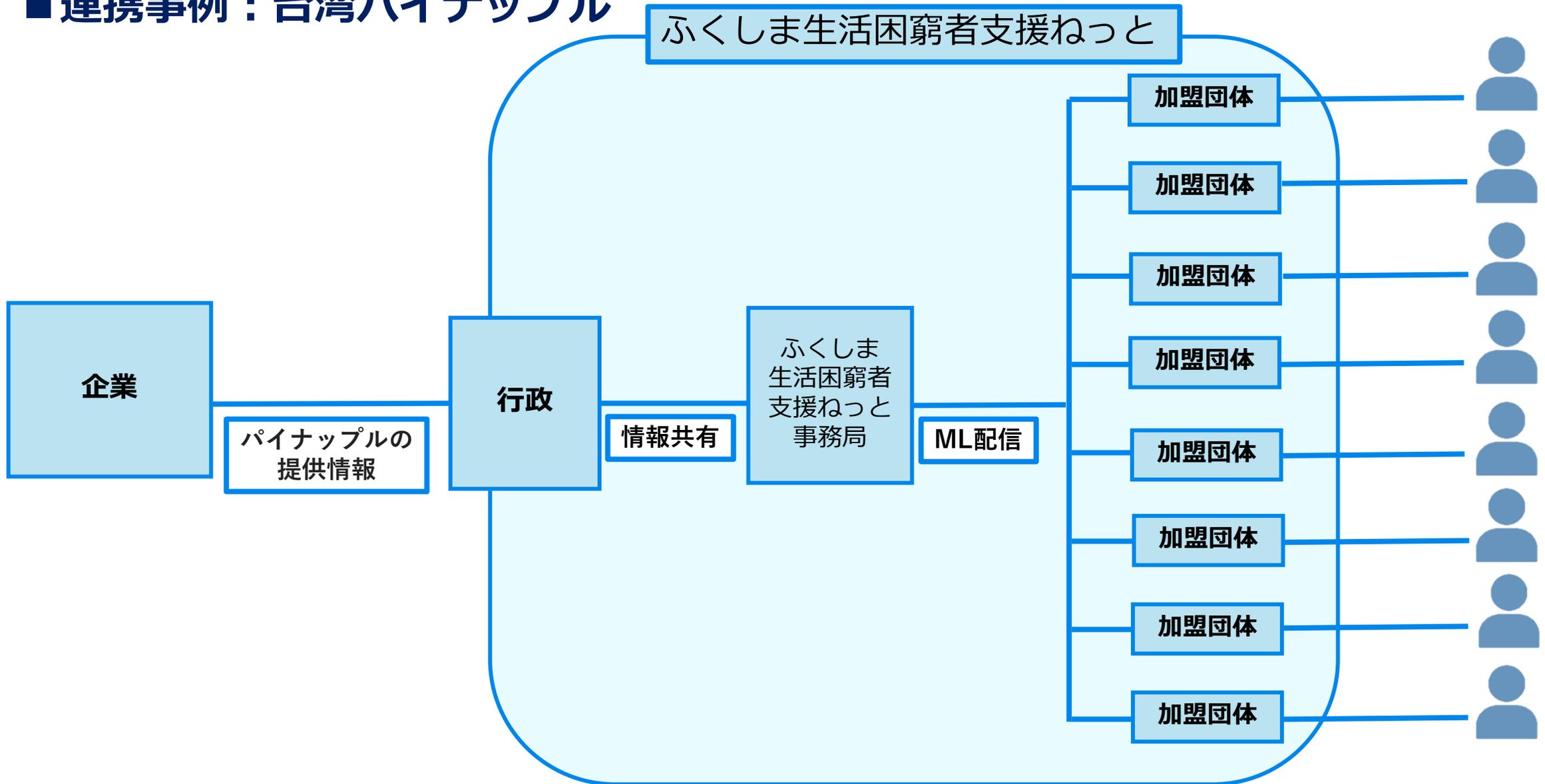
- 1) 助成金情報
- 2) 物資支援

物資	情報提供元
生鮮食品	JA、フードバンク郡山そっとね
アルファ米	JLMM/CTVC、フードバンク目黒、一般社団法人カリタス南相馬
パイナップル	BlueSkyWestJapan株式会社

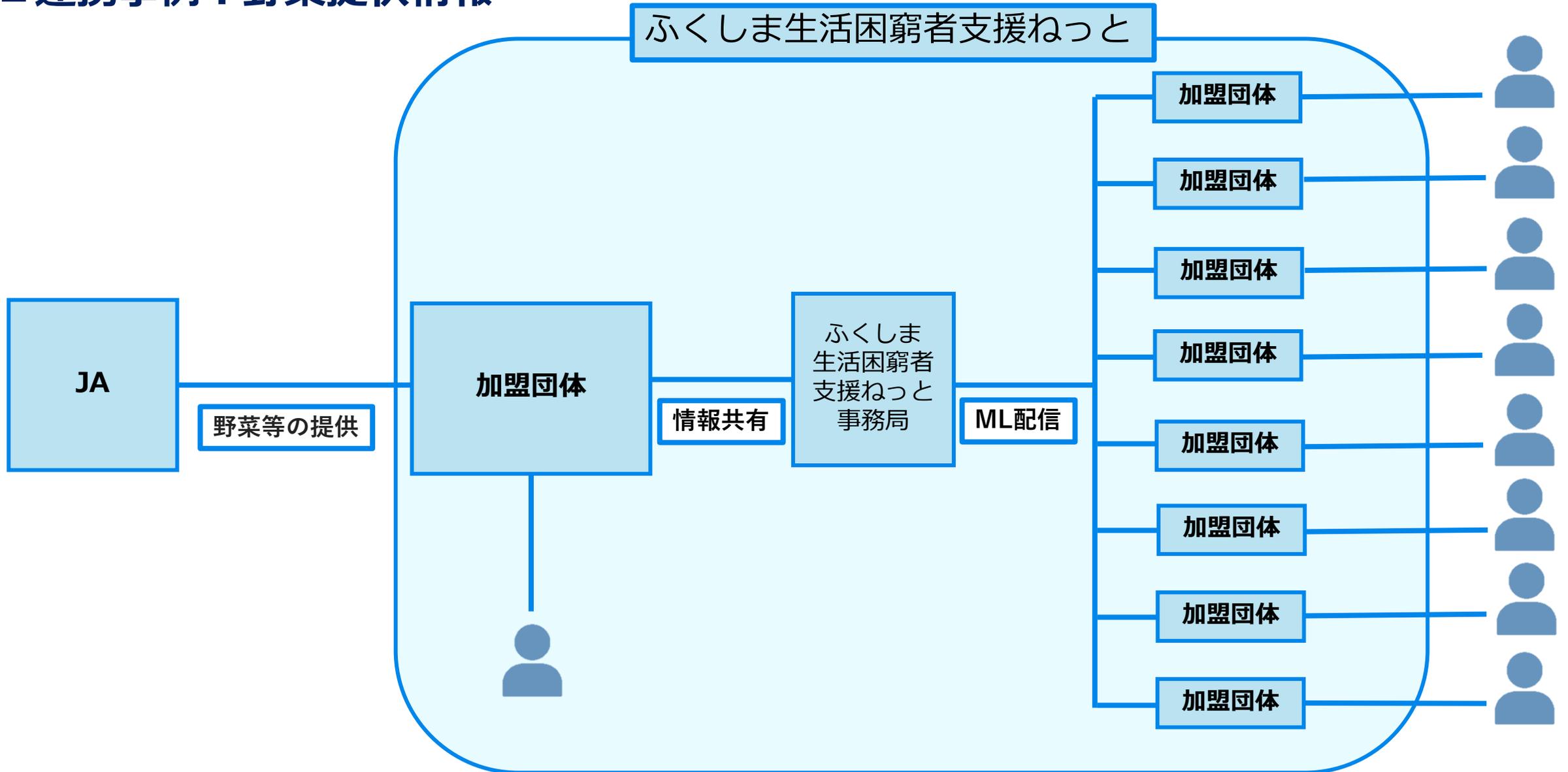
- ④支援体制のマップ化
ネットワーク参加団体の見える化。



■ 連携事例：台湾パイナップル



■ 連携事例：野菜提供情報



■ 勉強会の開催実績

開催日時	内容	参加人数
2017年	NPO法人フードバンク岩手による研修会	4団体
2018年3月	NPO法人フードバンク岩手による研修会	17名
2019年9月	社協とNPOの協働について	11団体21名
2019年12月	宮城県多賀城市の「我が事・まるっと会議」と 福島県郡山市の「こおりやま福祉よりあい会議」 の事例紹介と講演	15団体33名
2019年12月	災害ケースマネジメントに関する研修	15団体33名
2020年9月	福島県内における生活困窮者支援の取り組みに関する情報共有と、 現在の支援状況の可視化のワークショップ	20団体28名
2021年1月	「命をつなぐための緊急食糧支援」をテーマに、 福島県いわき市における困窮者支援の具体的な連携協働の事例紹介	13団体20名

事務局

一般社団法人ふくしま連携復興センター



〒960-8062

福島県福島市清明町1-7大河原ビル2階

TEL : 024-573-2732 / FAX : 024-573-2733

E-mail: info@f-renpuku.org

<https://f-renpuku.org/>

